

会 議 録

会議の名称	平成27年度 第3回 富士見市スポーツ推進審議会
開催日時	平成28年2月29日（月）19時30分～20時45分
開催場所	教育委員会 会議室
出席者	加藤連治委員、大竹ミイ子委員、田中悦子委員、北田裕一委員 天野豪雄委員、佐藤俊博委員、久米原明彦委員 事務局（生涯学習課：木村課長、大堀副課長、宇津木主事）
欠席者	神谷和義委員、井上拓哉委員、菅高志委員
会議次第	議事 （1）報告事項 ①ヒアリング調査の結果について （2）協議事項 ①（仮称）富士見市スポーツ推進計画（案）について ・現状から見た取り組むべき課題について ・計画（案）の目指す姿（基本理念）について ・各施策を組み立てる上での基本目標について ・基本目標にかかる各施策（案）について （3）その他
会議資料	（資料1）ヒアリング調査の結果について （資料2）現状から見た今後取り組むべき課題について （資料3）計画（案）の目指す姿（基本理念）について （資料4）各施策を組み立てる上での基本目標について （資料5）基本目標にかかる各施策（案）について
公開・非公開	公開（傍聴人 0人）
会議録確認	加藤連治会長

会議内容

1 開 会

2 あいさつ 加藤会長

3 議 題

(1) 報告事項

①ヒアリング調査の結果について

【資料説明】

事務局…スポーツ推進計画を作成する上での基礎資料として、実際に市内において活動しているスポーツ団体に、趣旨を説明し了解いただきヒアリングを実施した。その結果を報告する。

事務局…実施日は平成27年11月から12月にかけて、計42団体から意見をいただくことができた。内訳は、子どもから高齢者までの団体で運動公園、市民総合体育館、各学校の校庭や体育館などを使用している団体や、市体育協会加盟団体、スポーツ推進委員、子どもスポーツ大学実行委員、指定管理者など、スポーツに関わる幅広い団体から、それぞれの立場からの意見を伺った。

事務局…傾向としては、会員数が減少及び高齢化、活動場所が確保できないことなどが課題として寄せられ、また、意見要望としては、スポーツを気軽に体験できる場所、スポーツに関する相談、スポーツ用具の充実などがあり、希望する施策としては、スポーツ教室の開催、スポーツ情報提供の充実、スポーツ施設の整備、トップアスリートと触れ合う機会の充実、企業との連携によるスポーツイベントの開催などがあった。

事務局…収集したご意見等については、今後、作成していくスポーツ推進計画の参考にしてい

事務局…なお、障がい者のスポーツ団体については、探したところ1団体のみであった。障がいのスポーツのヒアリングは他に比べて数が少ないため、今後、スポーツを行っていない障がい者の団体についても機会を見てご意見を伺っていきたい。

【意見交換】

委 員…ヒアリングの中で特に感じた意見等はあるか。

事務局…市民総合体育館を利用している団体から、現在、午前・午後・夜間の3区分されている利用時間について、区分をさらに細分化してほしいという要望があった。

会 長…施設を利用したい時間帯に利用区分が合わないことから、練習時間が確保できず、結果的に会員が減っていくという傾向もあるのではないか。

事務局…市内に転入された方でスポーツ団体の紹介の問い合わせも年間数件ある。

会 長…募集している団体の情報とスポーツをしたい方の要望が繋がらないと難しい。スポーツに関するあらゆる情報をいかにして分かりやすく伝えるかが大事になる。

会 長…トップアスリートと触れ合う機会というのも意見として多かったが。要望としては多かったか。

事務局…年末に少年野球連盟が、地元出身のプロ野球選手を招き野球教室を開催したと聞いている。子ども達にとっては、一流のプレーを間近で見ることができて、刺激になったのではないか。そういった意味でも、トップアスリートとの触れ合いは重要と考える。

委員…子どもから高齢者のいずれのスポーツ団体についても会員の減少について、深刻な問題として捉えていることが改めて認識できた。一人でも多くの方にスポーツをしてもらうためには、既存のスポーツ団体にスムーズに入ることができる取り組みが必要。

(2) (仮称) 富士見市スポーツ推進計画(案)の各施策の検討について【協議事項】

【資料説明】

事務局…これまでに実施したスポーツに関する市民アンケート調査、市内小中学生に対するアンケート調査、市内で活動するスポーツ団体や関係者等へのヒアリング結果から、富士見市が今後スポーツを推進していくにあたり、取り組むべき課題をまとめた。

事務局…市民アンケート調査では、国の直近の世論調査の成人週1回以上のスポーツ実施率の結果に比べて富士見市は低い数値になっていたので今後、この実施率について検討していく必要があること、市民がスポーツ活動をするきっかけづくりが必要であること、スポーツ活動時間の環境づくりや、多様な媒体を通じてスポーツ情報を提供していく必要があること、NPO法人など、地域でスポーツクラブを設置したいという話しがあった場合には、支援を検討していく必要があることなどを課題とした。

事務局…市内小中学生については、体育の授業以外でスポーツをしていない人に対して、見るスポーツの提供など、何らかの形でスポーツに親しんでもらうような取り組みが必要であること、また、スポーツ関係者のヒアリングからは、会員数が減少している団体が多いことから、スポーツ団体の情報を提供して、スポーツ人口の増加につなげていく環境づくりが必要であることや、施設を有効に利用するための取り組みが必要であることを課題とした。

事務局…こうした課題をスポーツ推進計画(案)の各施策に反映していく。

事務局…基本理念については、スポーツ推進計画の大きな目標として、例えばキャッチコピーやスローガンのものになるかと思うが、分かりやすく親しみやすい文言がよいのではないか。今回の審議会では3案を提示する。

事務局…基本目標については、基本理念のもととなる目標であり、取り組むべき課題を抽出し、施策の柱としていく必要がある。国や県の計画、市の計画と整合を図る必要があるが、ここでは各計画の状況から、4つの基本目標(案)をまとめた。

4つの考え方であるが、それぞれ「スポーツ活動の推進」「スポーツ活動に対する

支援」「健康づくり」「スポーツ環境整備」である。

事務局…基本目標に係る各施策（案）について、資料のとおりまとめた。施策展開の方向であるが、施策目標という意味合いでもある。

基本目標1は、子どもから高齢者までのスポーツ活動の推進、基本目標2は、スポーツ活動への支援、基本目標3については、健康づくりにむけての推進として、保健・福祉・医療との連携を入れた。基本目標4は、スポーツ環境の整備とした。全部で16の施策目標をまとめた。

【意見交換】

委員…基本理念について3案提示されたが、今回の審議会で決めるのか。

事務局…基本理念については、3案提案したが、最終的には1案となる。これまで他の計画策定の過程の中では、先に決めている場合もあるし、素案がまとまる一番最後に決めた所もある。ここでは、先行して提案したが、後ほどよい文言が出てくることもあるので、最終的に全体の素案を調整していく中で決めてもいいのでは。

委員…基本理念の中では、やはり「健康」という文言が響くのではないか。

委員…スポーツだけであると「競技」というイメージがあるので、「生涯スポーツ」という文言にすると、イメージが柔らかくなるのでは。

委員…生涯スポーツであると、高齢者だけのイメージになりがち。国の計画ではライフステージごとになっているので、そういったことがイメージできる文言で言う「すべての市民が…」ということになるのでは。

委員…事務局から提案のあった3つの案をみると、案1、案2ではないか。私としては案2がよい。

委員…ゴロがよい方が覚えやすいのではないか。そうなると案1か2になる。

委員…やはり「スポーツ」は競技というイメージがある。「運動」という文言も検討しては。

会長…スポーツは、人からやらされるものではなく自分から進んで楽しんでもらうもので私としては、「楽しく」が入っている案3がよいと思った。

事務局…今後、計画が冊子になり、ページを開けたとき一番初めに出てくるのが「基本理念」であるので、市民の関心を引くには「キャッチフレーズ」が大事となる。また、「スポーツ」という文言だけでは「競技」というイメージがあるので、補足として、説明を加えていく必要もある。

事務局…先ほど申し上げたが、ここでは皆さんのご意見をまとめ、今後審議をしていく中で文言をまとめていきたい。

会長…次に基本目標について4つの柱が提案され、また、施策の方向として目標が提案されたが、これについて意見を伺いたい。

委員…基本目標3の健康づくりに向けての推進の中の「ニュースポーツ」とは。

事務局…ここでいうニュースポーツとは、子どもから高齢者まで楽しむことができるレクリエーション性の高いスポーツのことであり、例えば、富士見市発祥のバトテニスや、ラケットテニスなどがある。

事務局…こちらも基本理念と同じように今後の審議の中で、よいキャッチフレーズが思い浮かぶ場合もあるので、ここできっちり決めておくという事ではなく、仮置きの状態にしておいてもよい。

委員…文言で「スポーツ・レクリエーション」は1つの言葉として考えてよいのか。

事務局…国のスポーツ基本計画の中で「スポーツ・レクリエーション」と表記している所がある。スポーツとレクリエーションを離してしまうと、また違った意味になってしまう。市の基本構想や教育振興基本計画においても表記として「スポーツ・レクリエーション」としている。

会長…おおよそ、項目としてはまとまっていると思う。

事務局…基本目標があってその下に施策の方向があり、さらにその下に目標が入ってくる。それぞれ、文言や目標がどのように入ってくるのか分からないと、基本理念がイメージできない所もあるので、今後、文言を入れていく中で、再度調整していくことでもよいのではないかと。

従って基本理念なども現時点では仮置きの状態にしておくことでよいかご意見を伺いたい。

委員…今後、進めていく中で決めていくことでよいのではないかと。

会長…基本目標では「スポーツ・レクリエーション」という表記にも関わらず、施策の方向性では「スポーツ」だけになっているので、このところの表現方法をどうするか。

委員…「スポーツ」という文言をすべて「スポーツ・レクリエーション」に代えると、文字数も多くなり、しつこい表現になってしまわないか。

事務局…計画の中で、はじめに「スポーツの定義」があるが、そこで「この計画の中のスポーツ」は、レクリエーションも含まれるとすれば、「スポーツ」のみの表現でいけるのではないかと。

会長…あまり長い表現になってもどうなのかと感ずるので、今一度、事務局の方で検討していただきたい。

事務局…検討した結果、「スポーツ・レクリエーション」という表現を「スポーツ」に変更することも想定されるので、その場合はご了解いただきたい。

委員…目標数値については。

事務局…今後は、施策の方向、小柱になると思うが、文言を入れていくことで、できる限り目標数値を設定していきたいと考えている。「〇〇を推進します」という言葉の表現も大事であるが、計画としては数値目標が必要となるので、目標設定について、今後審議の中で検討していきたい。

会 長…改めて申し上げるが、本日の審議で基本理念や基本目標はすべて確定ということではなく、今後の審議を進めていく中で、変更もありうることをご了解いただくということをお願いしたい。

委 員…了解。

(3) その他

委 員…市民総合体育館メインアリーナの工事内容について、現時点で分かる範囲で説明願いたい。

事務局…現在当初予算案を議会に提案している。金額はメインアリーナの災害復旧工事として10億円。サブアリーナ棟の改修工事として約6億6千万円を計上している。市議会の承認をいただいた場合の話になるが、来年度1年をかけて復旧していく予定。期間は不明であるが、安全を確保するため、工事期間中は全館閉館を考えている。また、工事業者が決定し工事スケジュールを調整した後でないと、市民の皆さんにスケジュールを報告できない状況である。
詳しい状況が分かり次第、報告していく。

以 上